

事業所名

ワンライフ TERAKOYA

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		一度きりの人生を豊かにしよう											
支援方針		小集団での活動を主とし、集団での活動参加方法や人との関わり方や意思表示方法等、お子様一人ひとりのペースに合わせた療育を行っています。また、ブラジルなどの多国籍のお子様も利用されているため、多言語での対応ができるよう体制を整えており、お子様・保護者様も安心して過ごすことができる場や機会を提供しています。											
営業時間		月～金	9 13	時	30 00	分から	11 17	時	30 00	分まで	送迎実施の有無	あり	なし
		土日	9 13	時	30 30	分から	13 16	時	00 00	分まで			
支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	手洗いうがい、身なりを整えるなど、生活に必要な基本的技能を獲得できるように支援します。具体的には通所したら手を洗うなど、通所した時の流れを理解し通所時のリズムを獲得できるようにしています。意思表示が困難なお子様の小さなサインにも気づけるように配慮していきます。											
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢の保持や手足の運動、体力の向上等支援します。また、ボールや風船、スライムなどの遊びの中から、動きの予測、判断、協調運動、指先の感覚等を遊びを通して学べるようにしています。											
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用し、遊びの中から形や色、音、空間、時間等の概念形成を図り、認知や行動の手がかりとして活用できるように支援します。こだわりがある場合はお子様の様子を見つづ、特性に配慮して支援してまいります。											
	言語 コミュニケーション	発語・発話・音節の他に、目を合わせる、指差し、身振り、サイン、絵カード等多様なコミュニケーション手段を用いて、意思の伝達ができるようにお子様の特性に合った方法で支援し、コミュニケーションをとる楽しさを感じられるようにしていきます。											
	人間関係 社会性	お子様と職員の信頼関係を構築していき、その信頼関係を基盤とし、周囲のお子様と安心した関係を形成できるように支援します。また、相談しやすい環境を提供いたします。一人遊びの状態から、職員が仲介して行う連合的な遊び、ルールのある協同的な遊びを段階を踏んで社会性をはぐんでいきます。											
家族支援		・ご利用中のお子様だけでなく、そのご兄弟やご家族を含めた、家庭内における問題や課題などの相談援助を行います。						移行支援		・進路や移行先の選択についてお子様やご家族への相談援助、移行に向けた支援を行っています			
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や関係機関と連携し、お子様の事業所や事業所を利用するお子様の居場所作りを地域の中で行いながら、地域の住人として生活が円滑にできるようサポートいたします。						職員の質の向上		・毎月事業所研修を通じて、療育の技術や家族支援を学んでいます ・日々、お子様や周囲環境に関する情報共有を行い、適切な支援を提供いたします。			
主な行事等		フェスタジュニーナ(ブラジルの農民祭)、夏祭り、七夕、ハロウィン、クッキング等、多国籍のお子様にもそれぞれの文化を触れてもらえる機会を提供しています。他にも日本文化の行事や五感を感じられるようなイベントを実施しています。また、イベント開催時にはお子様のご兄弟やご家族にもイベントに参加できる機会の提供をしております。											